



かがやき



学校教育目標： 確かな学力と豊かな人間性をもち、自ら伸びる子どもの育成

自ら学ぶ

認め合う

元気

《No. 3》 令和7年6月2日



今年は広島・長崎に原子爆弾が投下され、日本が終戦を迎えた1945年から80年目の年となります。この節目の年、広島で育っている神杉小の子どもたちが「平和」について考えようと、「平和の虹プロジェクト」学習を全校で進めています。

初回は、5月9日（金）全校がホールに集まり、6年生からこの学習の目的や「平和の虹」の意味についての説明を受けました。その後、6つある縦割り班に分かれ、8月6日の広島の出来事や平和について知りたいことや考えてみたいことを出し合い、プロジェクトは動き出しました。

5月16日（金）1・2・3年生は、わくわくルームに集まって絵本の読み語り。広島平和記念資料館で配布をされている「はじめてのヒロシマ」と「おりづるの旅～さだこの祈りをのせて～」の2冊の絵本から、80年前の8月6日に広島で起こったことや世界中から広島へ届けられるおりづるのもとになった佐々木禎子さんのことを知り、もっと知りたいことや私たちにできることを考えていきました。4・5・6年生は2つのグループに分かれ、神杉地域にお住いの中井治人さん、廣川テル子さんにお話を聞かせていただきました。戦争中の暮らし（食べる物や着る物、怖かった経験や楽しかったこと）を詳しく聞くことができました。お二人とも90歳を超えるご高齢ですが、大変元気なお姿で、自分の経験とともに平和への願いを子どもたちに語ってくださいました。



3回目、5月23日（金）には、全校児童が体育館に集まり、8月6日、広島駅周辺で被爆をされた福永 八重子さん（吉舎町在住）にお話を聞くことができました。広島駅前の電車の影で被爆をした福永さん。全校児童は真剣に話を受け止めていました。あの日、あの瞬間の広島の様子をこうして生で聞ける機会は、もう無いかもしれません。貴重なお話をお聞きすることができ、子どもたちにも、「原爆は怖い」だけでなく、戦争は絶対に起こしてはならないもの、平和な世の中をつくるために自分たちができる

ことを考えるもとをたくさんいただきました。

今後も、神杉小学校では「平和の虹プロジェクト」学習は計画的に続き、学校全体で「平和」について考えて行動していきます。

修学旅行に行ってきました！

6年生は、5月29・30日に四国方面へ修学旅行に行きました。昨年度は関西方面でしたが、開催中の大阪・関西万博並びに外国人観光客の増加を鑑み、今年度は四国方面へ見学先を変えました。1日目は、愛媛県総合科学博物館・四国水族館・丸亀城の見学、2日目は、金刀比羅宮への参拝と NEW レオマワールドでの遊園でした。2日間とも何とか雨が降ることもなく、6年生全員で一生の思い出に残る楽しい修学旅行を行うことができました。保護者の皆様には、いろいろな準備や当日の送迎等、ご協力いただき誠にありがとうございました。



さすがは、神杉っ子！

出発式に、「6年間、学んできたことをこの2日間はしっかりと発揮しましょう！」と話しました。当たり前のことですが、「時間を守ること」「履物をそろえること」「気持ちの良いあいさつをすること」など、6年間で身に付けた力を様々な場面で確かめることができました。

5月13日 交通安全教室

5月13日（火）、三次警察署交通安全課、交通安全協会の皆様においでいただき、交通事故の危険性、道路での安全な歩き方や自転車の乗り方等の指導をしていただきました。

1, 2年生は、交通ルールを守って歩行したり、安全に道路を横断したりすること、3年生以上は、自転車点検の仕方、安全な乗り方について教えていただきました。

児童たちは指導してくださる方の話を真剣に聞き、安全確認等の大切さを学んでいました。毎年行う交通安全教室ですが、改めて繰り返し学ぶことの必然性を感じました。

第20回神杉大田植

第20回 神杉大田植が、次の日程で行われます。
令和7年6月8日（日） 午前10時～

- 第1部 “再現 神杉大田植”
- 第2部 小学校児童・参加者体験交流田植え
- 第3部 代みて行事

今年度から、この日を全校登校日として全校で行事に参加し学んでいきます。神杉大田植の伝統、地域の方々のつながり、昔ながらの米作り等、各学年が様々な学びの視点で参加します。

初めての取組で、保護者・地域の皆様には、大変ご迷惑をおかけすることと思いますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

